

## 令和2年 4月市長定例記者会見

日 時：令和2年4月1日（水） 午後1時～

場 所：射水市役所会議室305・306

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、富山テレビ、  
庄東タイムス

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、  
未来創造課長、地域福祉課長、生涯学習・スポーツ課長、  
生活安全課長、介護保険課長、子育て支援課長

### ○質疑応答の概要

Q1. 新型コロナウイルスについて、射水市から感染者が出た場合の対応について伺いたい。

A1. 現在、各部署で所管している業務や管理をしている施設等の運営については、対策本部会議を開催し、それぞれの部署と情報共有をしており、感染者が市内に出た場合は、施設等は利用を厳しく制限する可能性もある。また、窓口対応の職員は、マスク着用、手指消毒をしているほか、多くの方が触れると思われるものへ消毒作業を適宜行っており、今後も徹底していきたい。射水市は、県の情報に基づき感染者等の行動履歴の調査を行うため、県の関係機関と連携し適切に対応する。

Q2. 臨時休校に伴うコミュニティバス定期券の払戻しについて伺いたい。

A2. コミュニティバスの定期券の払戻しについて、特例措置として、小学校・中学校・高校、特別支援学校に通学しており、臨時休校により通学できなかった3月2日から3月24日までの期間を含む射水市コミュニティバスの定期券を購入した方を対象に行う。ただし、3月2日以降の休校期間中に当該定期券を使用した場合は対象としない。3月2日から臨時休校により通学できなかった日数を日割り計算で算出し、払い戻す。定期の種類は1か月、6か月、1年定期で、日割り計算した額に通学できなかった日数をかけた金額を払戻す。なお、1か月定期については、4月30日までを払戻し期間とする。その他の定期券は、通用期間終了日の1か月後までに購入された場所で申請を行ってほしい。

Q 3. 新型コロナウイルスによる制度融資について、3月末までの市での認定件数と市としての今後の対応について伺いたい。

A 3. 県制度融資の「経済変動対策緊急融資」は、現行の条件に新型コロナウイルス感染症の発生に起因した業績の悪化を対象として追加して受け付けている。新型コロナウイルス感染症に起因する場合については、セーフティーネット保証4号もしくは5号の指定を受ける必要があり、場合によっては、「危機関連保証」の発動も考えられる。現状として、「富山県経営安定資金経済変動対策緊急融資制度」は、セーフティーネットの指定を受けずに従来の枠で受けることも可能であり、その認定機関は商工団体となっており、2件申請があった。市が認定する制度の申請件数については、新型コロナウイルス感染症に対するセーフティーネット保証4号は8件、セーフティーネット保証5号は5件、危機関連保証は2件で、合わせて15件である。それぞれ非常に厳しい経済の落ち込みを反映しているものと認識している。現在、市の対応としては、県の制度融資等への利用を繋いでいる。なお、その状況の中で更なる対策が必要となる段階で、市として具体的な支援策を検討し、必要な予算措置を行っていききたい。

Q 4. 県や富山市との情報共有はどの程度可能なのか、また、最新情報の中で、感染者が射水市を通ったなどの情報はあるのか伺いたい。

A 4. 射水市については、県の厚生センターで情報を把握しており、市内で感染者が出た場合は県から発表がある。市としては、必要な情報を共有しながら必要な対応を行いたいと考えており、重要な情報はできるだけ共有したいと考えている。しかし、個人情報の保護やプライバシーの保護といった配慮しなければならないところもあるため、どの程度情報共有できるかは未定の部分がある。市としても、市民・住民の安全を守り、また、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためにも、県や富山市に対してしっかりと情報提供を要請していききたい。なお、詳しい移動履歴については市の方に共有されていない。

Q 5. 知事と富山市長の件で、情報共有の面で不安を抱くことはあるか。

A 5. 新型コロナウイルス感染症については、市民・住民の皆さんも非常に関心を持って、感染の状況を心配していると認識している。正しい情報をしっかり提供してもらうこと、できるだけ速やかに情報を開示、共有してもらうことが大事と考えている。今後もしっかり情報共有を図ってもらい、必要な情報を他の市町村や関係機関にいただき、必要な対策が取れる環境を作ってほしい。

Q 6. 凧まつりの中止はいつ決定したのか、今年どのくらいの規模の参加が見込まれていたのか、また、中止は初めてなのか伺いたい。

A 6. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念され、先月末に実行委員会で中止を決定し、地域の自治会等へ情報共有を図った。中止の背景には、参加の受けもしていたが、とりわけ企業・事業所からの申込みが無い状況であり、また、全国から凧愛好家に来てもらい盛り上げてもらっていた関係上、感染拡大地域からの来場も心配され、それらを踏まえて中止を判断したと考えられる。例年は、晴れた日であれば5万人ほどを見込んでいた。このイベントが中止になるのは非常に残念ではあるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況から中止は致し方無いと捉えている。なお、雨天中止は今までもあったが、事前中止は初めてである。